

笑顔輝く子どもたちのために



PTA

かながわ



発行者 神奈川県PTA協議会 事務局 〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 神奈川県教育会館内 電話045(326)6102 FAX045(326)6107

令和4年度 スローガン

子ども達の健やかな成長への思いをひとつに、家庭・学校・地域をつなげよう
～PTA 活動から仕合わせのサイクルを生み出そう～

関東ブロック山梨大会

第54回 日本PTA 関東ブロック研究大会 山梨大会が、令和4年10月15日・16日の2日間にわたり、大会スローガン「みんなで生きる みんなで育つ ～この甲斐(会)から発信 子どもと大人共に歩み 共に考え 共に創る～」の想いを軸に、雄大な富士山のもと 2000 人の方々が集まる規模の大会が4年ぶりに開催されました。

1日目は山梨県内7会場に分かれ、テーマ別の分科会が開催されました。

第1分科会(組織運営) 第2分科会(地域連携)

第3分科会(家庭教育) 第4分科会(安全安心)

第5分科会(国際理解) 第6分科会(健康・食育) 第7分科会(情報モラル) ※()内はテーマ

2日目の全体会は、河口湖ステラシアターにて開催され、全体会の記念講演では、大村智 理学博士をお招きし「私の科学と社会貢献」についてご講演いただきました。

1日目の分科会では、神奈川県座間市から座間市PTA 連絡協議会が、第1分科会(組織運営)をテーマに活動事例について発表しました。

組織とは目標の達成を目指して円滑に機能できるように、組織の資源や運営をマネジメントすること。座間市では、単Pで解決できない諸問題を解決するために、学校の垣根を超え、意見交換、情報共有が行える場として、毎年、活動研修会が開催され、活動研修会の準備から開催までの流れと活動研修会で得られることなどについて発表していただきました。

1人では解決できない問題でも、多くの人の力や考えをもとに解決することが可能であり、子どもたちのために何ができるのか、どのようにしたら良いか、人と人とのつながりを大切に、つながりを深めることこそが、組織運営には必要なことだと感じました。

コロナ禍で例年通りの活動ができないという意見が多い中、何もしないのではなく、子どもたちの笑顔のために何ができるのか、今までの形式にとらわれず時代の流れに合わせて変化していくことが必要であり、座間市の活動事例をご紹介いただきました。

【コロナ禍での活動事例(令和3年度活動)】

- ・Google アンケートフォームを活用した意見収集、LINE、メール、リモート会議を活用した会議運営
- ・オンラインフェスを企画し、休み時間に生徒から募集した動画を放送
- ・ナイトウォークイベントを実施
- ・給食のデザートにアイスクリームやクレープを提供

組織運営で必要なことは、「人と人とのつながり」。

単Pだけではなく、他校とつながり、良い点、問題点を共有することで問題の解決方法や活動の方法、選択肢を増やすことができる。改善するために、考え、話し合い、行動し、つながることで、笑顔が生まれ、楽しさの連鎖が生まれる。

これからの未来を託す子どもたちが夢と希望を抱き、豊かな人間性をもって成長できるように、保護者、教職員、地域が手を取り合ってしっかりと子どもたちを支え、成長を見守っていくという明確な目標に向かって、人と人とのつながりを大切にすることが必要だと発表していただきました。



日本PTA 関東ブロック研究大会



第64回神奈川県PTA大会 報告

令和4年11月10日(木)、第64回神奈川県PTA大会が「一人一人が輝く未来～多様なあり方と自分らしさ～」のスローガンのもと大和市文化創造拠点シリウスにて開催されました。長引くコロナ禍、感染対策を行い参集形式で開催することができ、同じ会場に参集し、想いを共有し、リアルな活動で得られる学びの大切さを改めて実感しました。

年次表彰では、昨年度に発行された広報紙を対象に、最優秀賞1校、優秀賞2校、優良賞3校、奨励賞20校の表彰が行われました。また、31校のPTAの活動に対して表彰状が贈られました。表彰されたPTAの皆さま、おめでとうございます。これからも、各校PTAの個性ある活動、素敵なPTA広報紙の作成を続けてください。研究大会では、厚木市P連が「地域を巻き込む新しいPTAの形」、葉山町P連が「葉山六校共通防災備蓄食」について実践発表が行われました。厚木市P連の、地域の方々を巻き込んで共にPTA活動を推進していく、地域に良し、保護者に良し、先生や子どもたちにとって良し、という「三方良し」の新しい仕組み、葉山町P連の、もしもの時に全児童生徒に防災食をくまなく届ける取り組みは、それぞれ好評でした。子どもたちのために出来ることを共に検討し行動する事の大切さや、横のつながりの大切さを実感しました。

基調講演では公認心理師・臨床心理士である松坂秀雄氏をお招きし、『子どもたちが自分らしくあるために、保護者としてできること』についてご講演いただきました。「『自分らしさ』ってなんだろう。人それぞれ多様なあり方があって、自分自身が感じるもので他人が決めるものではない。別の角度から言えば『等身大』。自分を過大評価しない、過小評価もしない、あるがままの自分でいられるということ。ありのままがいい。何も足さなくていい、何も引かなくていい。子どもは自分一人では、自分の心で感じていることをまだ感じ取ることができない。だから、親が子どものそばで、子どもが感じていることを感じ取り、それを伝え返してあげることが大切。」という話は、示唆に富んでいました。

子どもたちの輝かしい未来に向けて、それぞれが自分らしさを大切に、共に考え活動し、共に楽しめるPTA活動を再認識できた大会でした。



第64回 神奈川県PTA大会

当該大会の様子は、
神奈川県PTA協議会の
ホームページよりご覧ください。



神奈川県公立小学校・中学校長会と 神奈川県PTA協議会との懇談会

令和4年12月21日に、県公立小中学校長会との懇談会が神奈川県教育会館にて行なわれました。今回のテーマは、『学校・地域・保護者で育む子供たちの未来』として

①部活動の地域移行について ②学校から見たPTA・PTAから見た学校について ③PTA活動の現状「保護者の負担感～これからの活動のかたち」 ④保護者と学校とで協力できることの4点について、小学校3グループ、中学校3グループの計6グループに分かれて懇談を行いました。普段は話をうかがう機会のない政令市の校長先生方との貴重な懇談の場となり、その中で、「政令市もそうでない市町村も、PTAに違いは無い」との意見をいただいたことで、より話は熱を増し、時間が足りなくなる程でした。最後に、各グループで話し合った内容を記録発表者が報告し、参加した全ての方と意見を共有して、今年度の懇談会は散会となりました。内容報告で一番心に残ったのは、『PTAは、学校の最大の理解者であり、最大の支援者であり、相談できる心強い存在』との校長先生からのお言葉でした。

和やかな雰囲気の中、お互いの理解を深め、連携していく必要性をあらためて実感。短い時間ではありましたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。

神奈川県教職員組合との 教育を語るつどい

令和5年2月10日(金)、神奈川県教育会館にて、『第30回教育を語るつどい』が開催されました。今回のテーマは、【電子マネー時代の子どもの金融リテラシーと学校】です。



近年、加速するキャッシュレス化の普及により、家庭や学校における金銭教育のあり方についても、その影響を踏まえた改革が求められています。国内外における電子マネーやICカードによるキャッシュレス決済について学ぶとともに、家庭や学校における現状とこれからの金銭教育について考えることや、学校徴収金などの活用の可能性について話し合いを深めました。



令和4年度 第4回こころコトバ大賞 表彰式

私たち神奈川県 PTA 協議会で主催する「第4回こころコトバ大賞」の表彰式を、神奈川県立地球市民かながわプラザにて、令和4年12月11日(日)に開催いたしました。

応募総数 682 作品の中から厳正な審査をへて、25 作品が入賞となりました。

表彰式開催にあたり大木会長から「子どもたち、児童のコトバに、その通りだな、と共感したり、ハットさせられた」とあいさつがあり、また神奈川県教育委員会 生涯学習課 専任主幹 内田 源一郎様からは、「読書をととして子どもたちは、コトバや表現する力を育みます」とごあいさつを頂戴いたしました。

こころコトバ大賞は、大人たちが子どもたちの言葉から学びを得る貴重な機会になっています。中学生の入賞者より「自分の作品が少しでも、誰かが何かを考えるきっかけになればうれしいです」とコメントをいただいております、子どもたちの発想力の豊かさとコトバ選びの巧みさを痛感させられました。

受賞された皆さま、誠におめでとうございます。



第4回こころコトバ大賞 表彰式

なお、受賞された
25作品については、
神奈川県PTA協議会の
ホームページより
ご覧いただけます。



日本PTA 年次表彰

令和4年11月18日(金)ホテルニューオータニにおいて、日本PTA年次表彰式が開催されました。神奈川県 PTA 協議会(以下、県P)の中からも多数の個人・団体が表彰されましたのでご紹介いたします。

全国小・中学校PTA広報紙コンクールは県Pの広報紙コンクールで優秀な成績をおさめた広報紙を推薦しています。全国から集まった広報紙の中から、今回は3団体が入賞となりました。

日本PTA全国協議会会長表彰は、PTA 活動において長年活躍いただいた方や貢献のあった団体を県Pから推薦しています。

文部科学大臣表彰は各都道府県教育委員会から推薦された個人・団体が表彰されました。

受賞された皆さま、誠におめでとうございます。



日本PTA年次表彰式

第44回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール

日本教育新聞社 社長賞

大磯町立大磯小学校PTA 「いそかせ」

佳作

横須賀市立桜小学校PTA 「さくらんぼ」

綾瀬市立城山中学校PTA 「しろやま」

日本PTA全国協議会会長表彰

個人の部

鎌上 真樹(鎌倉市) ・ 鶴塚 康祐(小田原市)

深澤 倫央(茅ヶ崎市) ・ 二俣 晃治(大和市)

団体の部

座間市PTA連絡協議会

優良PTA文部科学大臣表彰

厚木市立依知南小学校 PTA

f 神奈川県PTA協議会の Facebook、フォローしてください

「親しみやすい広報」をモットーに、今年度、明るくPOPに発信してきた県PのFacebook。「臨場感あふれる投稿!」とお褒めの言葉もいただいています。

各校PTAのオモシロイ活動も取り上げていきたいと思いつつ、県内各地で行われるブロック活動や県Pとしての活動が日々目白押しで、更新が追いつかないといううれしい悲鳴。

その活動に広報委員が参加していればその人に、広報委員が参加していなければ参加していた県Pの役員理事に依頼して原稿を書いてもらい、SNS担当者が調整してアップするという連携プレーでつないでいます。

「自分の住んでいるところの市P連ではこんな取り組みをしているのね」「地域ブロックの横のつながり、いいね!」「県Pの活動もためになりそう」などなど、Facebookをのぞいていただいたら新たな発見があるかも!? みなさまからのフォローをお待ちしています。



PTA活動の安心のために

神奈川県PTA協議会安全互助会は、相互扶助の理念のもと、小中学校PTA、児童・生徒およびPTA会員等に生ずるPTA活動中のさまざまな事故を幅広く補償する制度です。

年会費100円(一世帯あたり)で、万が一には高額となってしまう入院費や賠償金、法律相談の費用のサポートが可能です。現在安全互助会は、神奈川県PTA協議会に所属する多くの小中学校PTAに加入いただいております。

PTA団体傷害保険

- 保険金(保険会社より)…… 入院日額 3,060円
通院日額 1,140円
- お見舞金(安全互助会より)…… 入院 5,000円
通院 2,000円

PTA賠償責任保険

- ◆ PTAで借りていたカメラで広報写真を撮影し台から降りる際、カメラレンズを破損させた
- ◆ PTA地域清掃ボランティア活動の除草作業中、芝刈り機の刃が小石に触れて飛び石となり、地域者の自動車の窓に当たりひび割れてしまった
…等

～ お気軽にご連絡ください ～



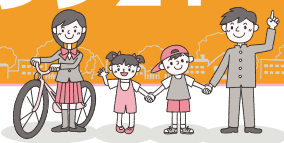
神奈川県PTA協議会安全互助会
tel: 045-326-6103
e-mail: office@pta-kanagawa.gr.jp



かながわ子どもセーフティプラン24

[こども総合保険+自転車総合保険]

当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活に想定される様々なリスクに対応した総合保障制度です。



●このご案内は、制度の概要を説明したものです。

特長その1 適用される割引率 約 **44%**※割引(2022年度 実績)
※当社における当該保険料の基準となる保険料に対しての割引表示となります。

特長その2 自転車事故等で法律上の損害賠償責任を負った場合に **最高3億円** まで補償

特長その3 お子さまが **ケガ**をした場合の **治療費**を補償
(実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入院退院時の交通費など)

特長その4 扶養者の方の万一の際に育英費用を **最高1,000万円** 補償

特長その5 ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は、**電話による事故報告のみ**で保険金をお支払いします。

(※ご利用にあたって諸条件があります。)

2022年10月現在の内容です。

※プランによってセットされている補償内容や保険金額が異なります。詳しくは以下連絡先へお問い合わせ下さい。

制度に関するお問合せ先 株式会社 ジーアンドケイ・アソシエイツ「かながわ子どもセーフティプラン24」係まで
TEL: **0120-115-852** (通話料無料) 受付時間: 9:00～17:00 (土、日、祝日、年末年始を除く)

引受保険会社 AIG 損害保険株式会社

S-230043 2023/09